

# 厄年

今は誕生日が来ると年を重ねますが、昔はお正月に年神さまをお迎えして神様の御魂を頂くのが一年の始まりで、その時に年を重ねると考えられていました。  
 そのようなわけで厄祓いの御祈願は今でも旧暦の正月までに行うのが一般的です。  
 厄年の頃は人生の転換期といわれ、最も健康面に気を付けねばならない時期です。お祓いを受け、良い節目となるよう祈願し、心身に晴れやかに毎日を過ごしましょう。

## 平成二十七年の厄年表(数え年)

	前厄	本厄	後厄
男の厄年	24歳 平成4年生	25歳 ひつじ 平成3年生	26歳 うま 平成2年生
	41歳 うさぎ 昭和50年生	42歳 とら 昭和49年生	43歳 うし 昭和48年生
	60歳 さる 昭和31年生	61歳 ひつじ 昭和30年生	62歳 うま 昭和29年生
女の厄年	18歳 とら 平成10年生	19歳 うし 平成9年生	20歳 ねずみ 平成8年生
	32歳 ねずみ 昭和59年生	33歳 いのしし 昭和58年生	34歳 いぬ 昭和57年生
	36歳 さる 昭和55年生	37歳 ひつじ 昭和54年生	38歳 うま 昭和53年生

※数え年とは、実年齢に誕生日前は二歳、誕生日後は一歳を加えた数です。



品川区内最大の天祖神社の狛犬



天祖神社

報

平成26年12月15日発行 発行所 下神明天祖神社社務所 宮司 福岡三朗 品川区二葉1-3-24 TEL 03-3782-7349

## 御奉納お礼

中尾力様(神明)・清水義男様(葉一)・小川まき子様(神明)・大友猛司様(葉二)の奉納にて、社殿前に櫨の雌雄一対(一位とも書き、神職が持つ笏などに使用される木)、二の鳥居下に緑赤桜一対(御衣黄と八重桜)が社名制定三百七十年記念として植樹されました。

## 節分祭

撒き方 豆をまく人

## 大募集!

二月三日(火)午後四時より

参加費 大人五千元・子供二千元

千支に係わらずご参加いただけますが、ひつじ年生まれの方はふるってお申し込み下さい!

## 月次祭に参列しましょう

毎月(月を除く)一日午前七時より氏子・崇敬者の安寧を願い、月次祭を斎行しています。

月の始まりにお祓いを受け、健康で明るい生活を送りましょう。どなたでも昇殿頂けますのでお誘い合わせお参り下さい。事前のご連絡は不要です。参列ご希望の方は直接神社へお越しください。

## 思ふところ

宮司 福岡三朗

家屋を建てる前に土地の神さまを鎮める為の祭典が地鎮祭です。近年は建て売り住宅やマンションを購入する方が多くなり、住む人が地鎮祭に関わることが少なくなりました。完成した物件の売買は売る側にも買う側にも効率的かも知れませんが、土地の主である神さまに挨拶もせず住むこととなります。「いやいや、土地は買った人の物でしょう」と思う方もいるでしょうが、権利の権という字には仮という意味があり、永久的なものではありません。

古来より日本人は、この世の全ては天地・天津神・國津神のもので、人が有する権利・権力は言葉の通り全て仮のもの、何れはお返りするものだと考えてきました。その神々の中でも大切な土地をお守り頂く為にお祀りされているのが氏神さまです。「村の鎮守」とも申しますが、名の通り村に鎮まり守っている主といえる御方で、土地やその上に在る建物や人々に力を下さいます。

近頃神社に寄せられる相談には「家を買ったのですが、近所の人に聞いたら地鎮祭をしていないことが分かったの...」という類のものがあります。結果的にはお宅をお祓いすることになるのですが、新しい生活を心穏やかに始めるには、土地を掘削する前に行う地鎮祭は重要であると考えます。更に申しますといわゆる「地鎮祭屋」と呼ばれている業者が祭典を行っている場合がありますが、それで果たして土地は鎮まるのかと疑問に感じています。

## 天祖神社の御祭神・御由緒

天照大神 (あまてらすおみかみ)  
 応神天皇 (おうじんてんのう)  
 天児屋根命 (あめのこやねのみこと)

江戸中期に編纂された幕府官撰地誌「新編武蔵風土記稿」(一八二〇年起稿)の中の資料である「正保年中改定図」に下神明の元である下蛇窪という文字が見られることから正保元年(一六四四)を上下の村が分かれた年としています。また、同風土記稿には上下の神明社の勧請年歴は詳にせず(不詳)とあるため、分村と同時に現在の神社が氏神さまとなったと推して正保元年を社名制定年と昭和五十八年に決めました。

御社殿前には、御神木である樺(かや)の大木(区保存樹・第三号)、区内最大の狛犬を有します。境内社の稲荷社前に、小規模ながら齋田があり、収穫した稲穂は例祭の神饌として本社、稲荷社に献じられています。

各種御祈願・行事参加  
 地鎮祭・神葬祭の  
 お申込み・詳細のお問合せは  
 天祖神社社務所まで  
 電話: 03-3782-7349  
 WEBサイトからのお問合せも可  
 ※年末年始のメールでのお問合せは  
 社務の都合上お返事が遅くなる場合があります。  
 お急ぎの方は必ず社頭または  
 お電話にてお問合せください。



お問い合わせ(天祖神社社務所) 電話: 03-3782-7349

## 下神明天祖神社

〒142-0043 東京都品川区二葉1丁目3-24 (豊葉の杜学園横)

下神明天祖神社ウェブサイト [http:// 天祖神社.jp](http://天祖神社.jp)

氏子区域: 二葉一丁目、二丁目、三丁目(17~21)  
 豊町三丁目、豊町四丁目(1を除く)  
 戸越五丁目(1, 2, 14, 15を除く)  
 大井二丁目1の一部

## ◎相談下さい

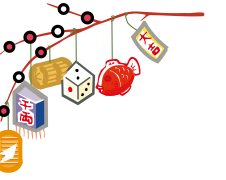
最近伊勢の式年遷宮、出雲大社平成の大遷宮、また四国八十八ヶ所霊場開創千二百年などの影響もあり、多くの社寺が過去に例を見ない賑わいを見せています。当社でも遠方より御朱印帳を持って参拝に来られる方が随分増えました。また「神棚はどのようにお祀りすればよいのでしょうか」といった質問が、特に若い方から多く寄せられていたり古くからの習慣が見直されています。

しかしながら核家族化など家庭内で古くからの風習の伝達が困難に成りつつあるのも現状です。先筆の地鎮祭や家祓い、神棚のことなどお気軽にご相談頂ければと思っています。

## ◎仕事始め団体祈願

仕事始めにあたり職場の繁栄や安全を祈念致します。社員揃って氏神さまに詣でる、又は社屋に神職を招いて神棚前で式始式を行い職場を祓い清めます。

お祓いを受け、清々しく一年を始めることで気が引き締まり社員が心を一つに歩き始めることができます。近年ご希望が増えています。始業日の午前中に御予約が集中いたしますのでお早めのお申し込みをお願いします。



# 形代と御神札

下神明天祖神社では毎年、十二月三十日に年越大祓神事を執り行っています。一年間の悪事災難や、知らず知らずのうちに犯した罪穢れ（つみけがれ）を祓い清め、新年の幸福と繁栄を祈願する神事です。参列御希望の方は、当日境内にて受付致します。

大祓とは、罪穢れを祓い清める神事です。六月の大祓を夏越の大祓、十二月の大祓を年越大祓といいます。神道では人はもともと清く綺麗な心を持っていると考えます。しかし、生活している間に曇り、知らず知らずのうちに穢れに触れ罪を犯し、清い心から遠くなってしまうため、祓いによって本来の綺麗な心にかえすのです。大祓神事では、人の罪穢れを移した紙の人形（形代といいます）を身代わりに清めます。形代で身をなでて息を吹きかけるのは身体と心の穢れを追い出すことを意味しています。全ての穢れを形代に移し、清々しい気持ちで新しい年を迎えましょう。



形代は二枚入っています。一枚を男性、一枚を女性に分けるなどして

年の暮れには大掃除をして新しい年を迎える準備をしますが、同様に神棚も綺麗にして新しい御神札をおまつりしましょう。

■ご家族全員のお名前、年齢を記します。  
■息を三度吹きかけ、形代で体をなでて心身の罪穢れを移します。  
形代が手元がない方はお知らせ下さい。神社よりお届け致します。

天祖神社では、毎年年末に氏子の方々へ新年の御神札を頒布しております。年内にお受けになり、清らかな心で新春をお迎えください。古い御神札は神社でお焚き上げいたします。一年間お守り頂いたことに感謝申し上げますから神社へお納め下さい。

**お焚き上げについて**  
お焚き上げできるものは御神札、お守り、神社で授与しているものです。  
■お人形・ぬいぐるみはお預かりできません。  
■ダルマはお受けになったところへお納めください。  
■金属、ガラス、陶器などの燃えないもの、またビニールなど燃やすと有害なものは外してお持ちください。  
■延焼の危険がありますので、紙(特に新聞紙)には包まずにお持ちください。  
伝統行事を未永く続けるためにも、ご協力をお願いいたします。  
ご不明な点がございましたら、社務所までお問い合わせください。

天祖神社では一年の始まりに『新年祈願祭』（昇殿参拝）にて、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、厄除け他諸祈願を承っております。皆様が清新なるお心で、新春をむかえられますことをご祈念申し上げます。

## 昇殿参拝

昇殿参拝された方には、木札に祈願・氏名(会社名)を記しお渡ししております。

仕事始め祈願（会社団体祈願）

商売繁盛・社運隆昌・事業発展  
社内安全・交通安全・開運招福・他  
式の終わりに代表者発声により神酒拝戴を行います。

個人祈願

家内安全・商売繁盛・初宮詣・厄年祓除  
交通安全・車載い・身体健全・病氣平癒・良縁成就  
開運招福・合格祈願・安産祈願・心願成就・他

事前のご予約が必要となります。  
(お電話でのご予約可)



昇殿参拝のご予約は 天祖神社社務所まで  
電話 03-3782-7349

※多少お時間が前後する場合がございますので予めご了承下さい。

## 神狐お守り

神明稻荷講では講員を対象に稲荷神に仕える神狐を象ったお守りを授与していただきましたが、問い合わせ多数の為、講員以外の方にも一体千円にて頒布することになりました。日々の生活における願い事を書き入れてお納め下さい。



神狐お守り

願意成就を祈り家業繁栄や家内安全の御神徳がある稲荷社に奉ります。

## 芸事上達お守り

古事記の天の岩戸神話からは天照大神が歌舞を好まれる事が窺い知ることが出来ます。

当社では御神前にて芸技上達の御祈禱を行い、歌や演奏、踊り、作品などを奉納頂いた方に授与させて頂いております。御祈禱及び芸事奉納を希望される方はお申し込み下さい。

※お守りだけの頒布は行っていません。



芸事上達お守り

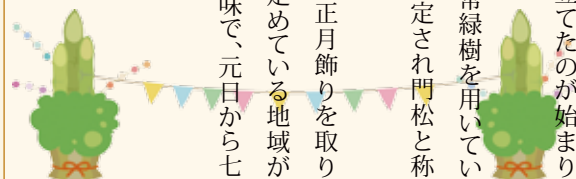
## Q. 門松について教えてください

門前の左右に一对並べるのが一般的で、玄関から出て左が雌松、右が雄松と呼ばれます。

新年を迎える際に、歳神さまが降りてくるときの目印として家の前に木を立てたのが始まりといわれます。

元々は松・杉・椎・神といった常緑樹を用いていましたが、平安時代には松に固定され門松と称されるようになりました。

なお、門松や注連飾りなどの正月飾りを取り除く日については、一月七日と定めている地域が多く、正月をひと区切りする意味で、元日から七日までを「松の内」といいます。



家庭の行事にしましょう。

## 年越大祓神事

12月30日 午後7時



形代をお持ち下さい。



年越大祓神事



毎年行われている犬吠埼での形代流し神事

どなたでもご参列頂けます。

大祓神事は十二月三十日午後七時に斎行いたします。形代は神事の始まる前までに初穂料をそえて神社にお持ちください。天祖神社では古式にのっとりお祓いをし、毎年七月初旬に形代を大海原に流す形代流し神事を執り行っています。